



おやゆび みじか おやゆび
親指は、短いのに、どうして親指というの

おやゆび かあ ゆび
親指は、お母さん指

おやゆび なまえ なが にじか ゆび なが
親指という名前は、長いとか短いという、指の長さからついたものではありません。

おやゆび かいぼうがくようご いしや つか ほし
親指は、解剖学用語(お医者さんが使うことば)では、「母指」とよんでいます。つまり、
かあ ゆび て なか もっと じゅうよう ちゅうしんてき やくめ うご
お母さんの指ということで、手の中では、最も重要な中心的な役目を持ち、その動きやはたらきも複雑です。そのため、親指とよばれているのでしょう。

そして、この親指だけは、母指対向性といって、ほかのどの指とでも向かい合うことができる位置にあって、よく動くので、「動の指」とよんでおり、ほかの4本の指は、「静の指、受けの指」とよんでいます。

ゆび かた
指の、いろいろなよび方

て ゆび かた
手の指のよび方は、ふつう、わたしたちが使っているものだけでなく、使う人や、地方によってもいろいろなよび方があります。

(監修・保志 宏)

教育基本語	解剖学用語	仏教学用語	その他
親 指	母 指	大 指	巨 指
人 指 指	示 指	頭 指	食 指
中 指	中 指	中 指	将 指
薬 指	環 指	無 名 指	紅 差 指
小 指	小 指	小 指	末 指

